

事業名		～音楽の絆で地域を結ぶ～ バリアフリーコンサート		担当課 施設名	(なら100年会館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(2) - ②③	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・継続		事業開始年	平成29年	実施回数	1
日時	平成30年1月21日		会場	なら100年会館 小ホール		
目的	公立文化施設として文化芸術に備わる特性を活かし、社会的に孤立や困難を抱えている人々に対して、社会参加の機会を提供するという、社会的包摂の視点を持った事業を実施するなかで、社会的課題の緩和や解決に継続的に取り組みます。「音楽の絆」をテーマとした事業やアウトリーチ事業を継続的に展開します。全ての人が社会とつながり社会参加ができるという社会的包摂の考え方を基に、地域を結ぶという「文化芸術の活用」を事業で実践します。					
内容	お身体に障がいを持たれていたり、通常の公演（コンサート等）では、来場することが困難と感じておられる方々にお越しいただけるバリアフリーコンサートです。障がい者と健常者がともに集い、歌や演奏を楽しむ交流事業を開催しました。					
事業費(円)						
	歳入			歳出		
予算	・市費(指定管理料等) ・市費以外、当該事業以外の事業収入を含む	242,000	その他収入 (事業収入等)	180,000	422,000	
決算	・市費(指定管理料等) ・市費以外、当該事業以外の事業収入を含む	162,821	その他収入 (事業収入等)	67,800	230,621	
事業成果						
アンケートの集計		配布数：115	回収数：43	回収率：37%		
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)			
成	参加者数・参加率の達成度	4	目標を上回る参加者数となり、多くの参加者に一体感を感じて頂けたコンサートとなりました。バリアフリーの小規模ホールで開催したため、車いすの方や高齢者の方、子ども連れの方にも参加頂けた。 目標値：100 実績値：115			
	参加者満足度	4	小規模ホールでの開催で、会場の雰囲気、特徴を上手く活かした、一体となって楽しめるコンサートとなり、満足頂けた。バリアフリーの小ホールで開催したため、車いすの方にも気軽にホールに入って頂けました。			
果	市民参画・協働の成果はあったか	5	手話の出来る、会館の市民文化サポーターが公演に加わり、出演者がお話や歌を披露することで、参加者全員が楽しいひとときを共有でき、障害のある方にも大いに喜んで頂けました。			
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか	4	コンサートは、小さなことから高齢者の方、障害をお持ちの方など、すべての世代の方々に楽しんでいただけるように、誰でも楽しめるコンサートの開催経験の豊富な地元の出演者に依頼し、施設側との協働事業として開催しました。			
	ターゲットを意識した企画であったか	4	小さいことから高齢者の方、また障害をお持ちの方など、すべての世代の方々に楽しんでいただける社会的包摂の考え方にたったバリアフリーのコンサート、誰でも気軽に鑑賞いただけるコンサートとして企画しました。			
総合評価(自動計算)		4				
参加者や協働相手からの意見		<p>(参加者) 心に残るすばらしい歌声とバイオリン、ピアノの演奏ありがとうございました。きれいな声で心が洗われるようで良かった。とても暖かい雰囲気、小さなホールですが、会場一体となって大変良かった。手話での合唱が良かった。</p> <p>(協働者) 視覚障害者や聴覚障害者の方々に接する機会が多く、今回のバリアフリーコンサートに感銘を受けました。テーマに沿った広報活動に協力できたたくさんの方々に来てもらえました。手話ボランティア、セッティング等、素晴らしい舞台を作って頂きました。</p>				
総括	評価年度の状況		改善案・次年度以降の目標			
	会場は、舞台と客席の境が無いことで、演奏者と来場者の視線が同じになる等、バリアフリーコンサートにふさわしい、心触れ合う催しとなりました。また、会館サポーターによる手話を交えた歌と演奏で出演者、参加者全員で、合唱することができ、会場に一体感が生まれました。また、バリアフリーの小規模ホールで開催したことで、小さな子ども連れのご家族の方から高齢者の方、障害をお持ちの方など、すべての世代の方にお越し頂きました。		子ども達から高齢者の方まで老若男女を問わず、また、障害をお持ちの方も一体となって楽しめるコンサートとして、歌や演奏、曲目もクラシック、童謡唱歌、テレビ主題歌とバラエティに富んだ内容としてまいります。平面である小ホールの形状を活かした企画も組み込んでまいります。また、会場が一体となり、互いに身近に感じられる小さな規模の公演を意識してまいります。			

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		第7回万葉オペラ・ラボ公演 ガラ・コンサート 「続・遣唐使物語」		担当課 施設名	(なら100年会館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1) -①②③④
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	平成22年	実施回数	1
日時	平成29年9月30日(土) 14:00開演		会場	なら100年会館 大ホール	
目的	奈良の魅力を発信する「なら100年会館」を目指して開催する事業。オペラ歌手を目指す若手演奏家の育成と万葉集をはじめとする奈良の芸術・歴史、文化の情報発信を行うために開催します。産・官・学との連携協力を行い、全国、世界へ向けて、奈良の創造文化の輝きときらめく魅力を発信します。奈良県国民文化祭の開催に伴い、市民参加の文化交流事業として、「万葉オペラ・ラボ公演ガラコンサート続・遣唐使物語」を開催することで、奈良の歴史の素晴らしさを発信します。				
内容	平成29年度奈良県国民文化祭の開催に伴い、文化交流として実施するとともに、奈良の歴史の素晴らしさを全国に発信します。平成28年度開催した万葉オペラ・ラボ公演「遣唐使物語」を題材にして、「万葉オペラ・ラボスタジオ」、市民公募の合唱団「万葉オペラ・ラボフレンズ」、会館のコーラス教室で研鑽を積む「万葉オペラ・ラボキッズ」やコーロ・アウラ、記紀・万葉合唱団などの市民合唱団が出演するガラコンサートです。				
事業費(円)					
	歳入			歳出	
予算	・市費(指定管理料等) ・市費以外、当該事業以外 の事業収入を含む	5,437,000	その他収入 (事業収入等)	5,350,000	10,787,000
決算	・市費(指定管理料等) ・市費以外、当該事業以外 の事業収入を含む	3,142,198	その他収入 (事業収入等)	4,754,000	7,896,198
事業成果					
アンケートの集計		配布数: 589	回収数: 69	回収率: 12%	
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
成	参加者数・参加率の達成度	2	奈良県国民文化祭応援事業として開催したことで、日頃市民合唱団として活動している方々に、広く告知宣伝し、万葉オペラをとおして、コンサートを楽しんで頂くという企画でしたが、参加者の達成率(入場者)は、約70%でした。 目標値: 850 実績値: 589		
	参加者満足度	5	「オーケストラと歌曲のコラボレーションがよかった。万葉スタイルがきれいです」「遣唐使の大変なことがよく伝わった。歌声もすばらしい、感動しました」遣唐使、万葉衣装、合唱に興味を持った方が多く、奈良ならではの内容で満足度の高い公演でした。		
果	市民参画・協働の成果はあったか	5	本公演には、公募による合唱団として万葉オペラ・ラボフレンズ、ラボキッズ(なら100年会館こどもコーラス教室)の他、市民合唱団のコーロ・アウラ、奈良を詠う一記紀・万葉合唱団など市民参画が実現し、充実した公演となりました。		
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか	4	若手指揮者として世界で活躍する高谷光信さんを迎え、演奏は大阪交響楽団。また、金春康之師(シテ方金春流能楽師)に奈良発祥の能楽の仕舞を演じて頂くなど、奈良ならではの内容をガラコンサートで打ち出し、大変質の高い内容の公演となりました。		
	ターゲットを意識した企画であったか	3	本年度は奈良県国民文化祭の開催に伴い、市民参加の文化交流事業としてガラコンサートを開催。日頃市民合唱団などで活動されている市民の方を中心に、告知宣伝することで、万葉オペララボ事業を知っていただき、鑑賞して頂く機会を提供できました。		
総合評価(自動計算)		4			
参加者や協働相手からの意見		<p>(参加者) オーケストラと歌曲のコラボレーションがよかった。万葉スタイルがきれいです!、三笠の山の舞のすばらしさ、芸術性が高く感じた。遣唐使の大変さが伝わりました。歌声もすばらしい、感動しました。歌も心に残るあたたいものでした。衣装も背景もきれいでした。</p> <p>(協働者) 出演ラボフレンズ(一般公募合唱)、ラボキッズ(子供合唱)、スタジオ生(出演者)、オーケストラ総勢200名が、名もない遣唐使達の思いに触れながら熱演した。特筆なのは照明、舞台全て会館スタッフによる事です。奈良・日本をテーマに舞台創作を会館と共に歩み続けたいと思いました。</p>			
総括	評価年度の状況		改善案・次年度以降の目標		
	本年度は奈良県国民文化祭の開催に伴い、市民参加の文化交流事業として、「万葉オペラ・ラボ公演ガラコンサート続・遣唐使物語」を開催、奈良の歴史や、万葉オペラの素晴らしさを発信できました。また、俳優の浜畑賢吉さんを進行役に配することで、演劇的な要素を取り入れた万葉オペラ・ガラコンサートとなりました。万葉オペラ・ラボ事業の取り組みも7年目を迎え、万葉オペラ公演の一環として新たな創作事業に取り組むことができました。		集客面、採算面は厳しい状況で、広報宣伝の方法などは課題です。なるべく大勢の市民の方に市民参加型の万葉オペラに興味を持って頂くため、館外での宣伝周知活動、公開講座などを検討しています。また、新たに宣伝周知のため動画・SNSの活用を取り入れ、「万葉オペラ・ラボ事業」の公演情報を市民の皆様への拡散に努めます。		

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		～親子で楽しむ～ よちよちコンサート		担当課 施設名	(なら100年会館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(2) -② (8) -①
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・継続	事業開始年	平成28年	実施回数	2
日時	平成29年12月23日(土) ①11:00②14:00開演		会場	なら100年会館 中ホール	
目的	未来を担う子ども達を対象とした芸術文化公演の実施等、芸術文化の裾野を広げるあらゆるジャンルの多彩な事業の展開によって、新たな観客層(ファン)の獲得につなげる等、未来に向けた会館運営を目指します。				
内容	0歳から入場でき、親子で楽しめるコンサートです。世界の童話や日本の昔話等の親しみある絵本に曲をつけた作品の読み聞かせなどとともに、子ども達が興味を持ちそうな曲を中心とした楽しい演奏会の2部構成からなる公演です。				
事業費(円)					
		歳入			歳出
予算	・市費(指定管理料等) ・市費以外、当該事業以外の事業収入を含む	0	その他収入 (事業収入等)	355,000	355,000
決算	・市費(指定管理料等) ・市費以外、当該事業以外の事業収入を含む	0	その他収入 (事業収入等)	391,456	391,456
事業成果					
アンケートの集計		配布数: 357	回収数: 10	回収率: 3%	
指標		評価 (5点満点)	5		
成	参加者数・参加率の達成度	4	目標値はクリアしましたが、朝公演: 213名、昼公演: 144名と昼公演の参加者数が多少伸び悩みました。昼公演に関しては、アンケート等を分析し、宣伝告知方法、対象者等を次年度に向けて再検討します。 目標値: 300 実績値: 357		
	参加者満足度	5	アンケートでは「大変良かった」「良かった」が95%を占めました。「子どもが、はじける笑顔で楽しんでいた」「子どもや親も参加でき一体感を感じた」等、大変好評をいただきました。内容については参加者と一緒に楽しむコーナーもあり、満足していただいた。		
果	市民参画・協働の成果はあったか	4	出演者の3名(松本あかり、吉田充宏、田邊あかり)は奈良在住の演奏家であり、積極的に企画段階から打合せを重ねて、協働で公演を創りあげることが出来ました。		
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか	4	前年度の演奏会方式ではなく、台本を作成し、お芝居形式で進行していく形式によって公演全体に統一感ができました。出演者の歌や演奏だけではなく、お芝居を入れることで、子ども達に飽きさせることなく楽しんで頂けました。		
	ターゲットを意識した企画であったか	4	子どもを中心としたファミリー向けの公演ですので、子どもが飽きのこない変化にとんだ内容を意識した企画とし、出演者と参加者が一緒に歌や楽器演奏を行う、参加型の構成を盛り込みました。		
総合評価(自動計算)		4			
参加者や協働相手からの意見		<p>(参加者) よちよちコンサートを季節毎に、季節の歌を歌ってくれる回数を増やしてほしい。来年も是非お願いします。また、他の時期にも乳幼児からOKのイベントをお願いします。自由に楽器を鳴らすことができ、45分間子どもがずっと音楽を楽しむことができました。</p> <p>(協働者) ホールと演奏者が相互的に作用すればより一体となった1つの世界観のある催しになると思いました。お客様が喜ぶ、プレゼントのような何が出てくるかわからないけど間違いなく楽しいと思える、選曲に頼りすぎずに楽しかった。また来たいと思って帰ってもたえるようなコンサートにしていきたいです。</p>			
総括	評価年度の状況		改善案・次年度以降の目標		
	本年度は、クリスマス時期の開催、ママ友サークルへのチラシの投げ込みを新たに実施。昨年度の公演の様子を動画でTwitterにあげる等の広報をした結果、前年比50枚程度集客が伸びた。前回の演奏会方式ではなく、台本を作成し、お芝居での進行形式によって公演全体に統一感ができた。また、参加型コーナーを取り入れたことと併せて、子ども達の飽きを防げた。前年度の公演時間が長すぎるとの反省から、60分公演から45分公演へ変更しました。		演奏会形式からお芝居形式への変更で、完成度を高めるため次年度は早めの練習開始とともに、コンセプトや方向性等を出演者とともに明確にしていく必要がある。前年度の公演時間が長すぎるとの反省を活かし、60分公演から45分公演へ変更しましたが、お芝居を入れることでの内容が充実、60分公演への再度変更も検討します。また、ママ友サークルへ投げ込んだ後にフレイグの配券が増えたので、大規模なママ友サークルを探し、宣伝告知することで更なるチケット販売に結びつけます。		

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		第36回 奈良市美術家展		担当課 施設名	(奈良市美術館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育 歴史 文化	文化振興計画 該当項目	(1) -①、(2) -① (5) -③
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	昭和57年	実施回数	1
日時	平成29年10月12日～17日		会場	奈良県文化会館 展示室	
目的	多くの市民に郷土の美術家である奈良市美術家協会会員の優れた美術作品を鑑賞していただける場を提供する事で、美術及び創作活動に関する知識と意欲の高揚を図る機会とし、市民の美術文化に対する振興と発展を目指す。				
内容	奈良市美術家協会会員が一人1作品を出展。日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真、建築の7部門で約70点の作品を展示。会期中には各部門の代表者による作品解説もおこなう。入場無料。				
事業費(円)					
			歳入		歳出
予算	市費(指定管理料等)	870,000	その他収入 (事業収入等)		870,000
決算	市費(指定管理料等)	943,836	その他収入 (事業収入等)	0	943,836
事業成果					
アンケートの集計		配布数：1000	回収数：27	回収率：2.7%	
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
成 果	参加者数・参加率の達成度	2	初めてでしたが、様々なジャンルの作品を鑑賞でき、また奈良を題材にした作品が多く含まれ楽しい時間を過ごせました。(アンケートより) 目標値： 1500人 実績値： 1043		
	参加者満足度	3	初めてでしたが、様々なジャンルの作品を鑑賞でき、また奈良を題材にした作品が多く含まれ楽しい時間を過ごせました。(アンケートより)		
	市民参画・協働の成果はあったか	3	各部門ごとにギャラリートークを開催(75人)		
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか	3	作品ごとに分かり易く説明が書いてあるキャプションでより理解が深まった。(アンケートより)		
	ターゲットを意識した企画であったか	3	毎回続けてほしい。(アンケートより)36回目となるため楽しみにしている市民がおられ		
総合評価(自動計算)		3			
参加者や協働相手からの意見		(参加者) 著名な先生方の作品をじっくり鑑賞することができて楽しかったです。次回も楽しみにしています。 (協働者)			
総括	評価年度の状況		改善案・次年度以降の目標		
	恒例の美術家展であるためにリピーターが多く見られる。美術家協会の先生の出品が今年は少し少なかった。		今回は多くの作品を出品して頂けるよう働きかけて参加者の方により満足いただけるよう進めたい。		

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名	奈良を観る～奈良公園の観光と美術を巡る～			担当課 施設名	(奈良市美術館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育 歴史 文化	文化振興計画 該当項目	(1) -①、(2) -① (5) -③
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発 継続	事業開始年	平成26年	実施回数	1
日時	平成29年10月13日～10月15日		会場	奈良県文化会館 展示室	
目的	奈良の隠れた魅力を市民や全国に発信するとともに奈良市の文化振興に寄与することを目的とする。				
内容	奈良の近代における美術や文化を発掘(調査)し、「奈良を観る」と題して紹介するシリーズの第4回目。奈良公園を観光と美術の視点から検証し、奈良公園ができた時代的背景や観光文化の変遷、鹿と人との関わり、近代の作家や芸術家達がなぜ奈良へ憧れ訪れたか等、奈良の魅力を紹介する。				
事業費(円)					
歳入					
予算	市費(指定管理料等)	2,383,000	その他収入 (事業収入等)	156,000	歳出 2,539,000
決算	市費(指定管理料等)	1,061,213	その他収入 (事業収入等)	0	1,061,213
事業成果					
アンケートの集計		配布数: 893	回収数: 105	回収率: 11.7%	
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
成 果	参加者数・参加率の達成度	3	県文化会館での開催となったため、美術館開催の目標と実績と違うが、ある程度目標を達成した。 目標値: 1000名 実績値: 893		
	参加者満足度	3	奈良公園の歴史を写真等で振り返る企画であり、参加者の意見は概ね良好であった。		
	市民参画・協働の成果はあったか	3	市民にボランティアの協力をお願いし12名の協力を得た。		
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか	3	奈良県文化会館での開催ではあったが、参加者が満足を得られる展示ができた。		
	ターゲットを意識した企画であったか	3	参加者の多数が奈良県内在住で高齢者が多いため、企画として良かったと思う。		
総合評価(自動計算)		3			
参加者や協働相手からの意見		(参加者) 再び開催して欲しい。撮影がOKというのも非常にうれしい。(アンケートより) (協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	
	今回4回目となる「奈良を観る」シリーズも4回目となり参加者には概ね好評である。			今後、「奈良を観る」シリーズを大型企画とし奈良市美術館の看板企画展にしていきたい。	

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		平成29年度 市民実技講座・親と子のやさしいアート体験		担当課 施設名	(奈良市美術館)
総合計画 該当項目	章	第2章	教育 歴史 文化	文化振興計画 該当項目	(1)-①
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ 継続	事業開始年	昭和57年	実施回数	8
日時	平成29年7月～10月		会場	奈良市中部公民館ほか	
目的	市民の美術作品に対する創作活動に関する知識と意欲を高める場を提供する。				
内容	奈良市美術家協会会員の協力により、洋画、書、写真等の専門家の指導を受け創作活動を行う。				
事業費(円)					
			歳入		歳出
予算	市費(指定管理料等)	0	その他収入 (事業収入等)	0	0
決算	市費(指定管理料等)	0	その他収入 (事業収入等)	0	0
事業成果					
アンケートの集計			配布数: 0	回収数: 0	回収率: 0
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
成 果	参加者数・参加率の達成度	1	写真講習会開催時期と桜の開花が合わず参加者数の減となった。 また、例年同じ講座のため参加者が年々減っている。 目標値: 225人 実績値: 111人		
	参加者満足度	3	参加者は、概ね満足していると思うが、アンケート等の根拠なし。		
	市民参画・協働の成果はあったか	3	奈良市美術家協会との連携は取れている。		
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか	2	例年の講座内容を行っている。		
	ターゲットを意識した企画であったか	2	奈良市美術家協会の講師によるところが大きい。		
総合評価(自動計算)		2			
参加者や協働相手からの意見		(参加者)			
		(協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	
	奈良市美術家協会会員の協力により、洋画、書、写真等の専門家の指導を受け創作活動を行った。 協会との協議により講座を決めているが、例年同じ講座のため新鮮味に欠けていると思われる。			協会との協議の上、参加者数が少ない講座について変更を行いたい。	